

在留外国人の国外送金に関する実態調査【2025年】 結果報告書

2025年3月



一般社団法人日本資金決済業協会

目次

<u>調査概要</u>	... P.2
調査結果	
① 全体編	
① -1 <u>単純集計</u>	... P.5
① -2 <u>クロス集計</u>	... P.11
<u>総括</u>	... P.16
付録： <u>調査票</u>	... P.18

調査概要

調査概要

- 調査目的 : 日本在住の外国人が日本から送金する際の送金サービス利用実態を調査する。
また、調査と併せて地下送金・代理送金を利用しないための啓発をアンケートフォーム内で行う。
- 調査対象 : インドネシア、フィリピン、ベトナム、ネパール、ミャンマー、カンボジア出身の国外送金経験のある外国人モニター。
- 調査方法 : 調査実施機関から各国の技能実習生送り出し機関に、技能実習生のFacebook宛に各国語に翻訳したアンケートフォームの配信を依頼する。
- 調査時期 : 2024年8月8日～9月20日
- 有効回答数 : 1270件

調査項目・啓発文章

No.	調査項目	形式
1	年齢	単一解答
2	在留資格	単一解答
3	日本在住期間	単一解答
4	居住地	単一解答
5	国外送金の目的	複数回答
6	主に利用する送金方法	単一解答
7	資金移動業者を利用する理由	複数回答
8	本人確認方法	単一解答
9	地下送金を利用する理由	複数回答
10	地下送金を知ったきっかけ	単一解答
11	金額ごとの送金方法	単一解答
12	送金方法ごとの年間送金回数	単一解答
13	マイナンバーカードの保有状況	単一解答
14	ICチップ読み取り機能の有無	単一解答
15	地下送金の違法性の認知状況	単一解答

地下送金や代理送金防止のため、アンケートの最後に啓発文章を各国語に翻訳したものを画像にして挿入しています。

【啓発文章画像イメージ】

地下送金を扱っている業者は違法です。友人や知人から依頼を受けて代理送金を行うことも違法または資金移動業者等の規約違反です。
また、地下送金や代理送金は、送金業者の破綻や利用者資金の持ち逃げがあっても保護されないので危険です。さらに、地下送金や代理送金で送金してしまうと、年末調整で控除が受けられず、税金が高くなります。国が認めた銀行や資金移動業者を使って送金するようにしましょう。

調査結果

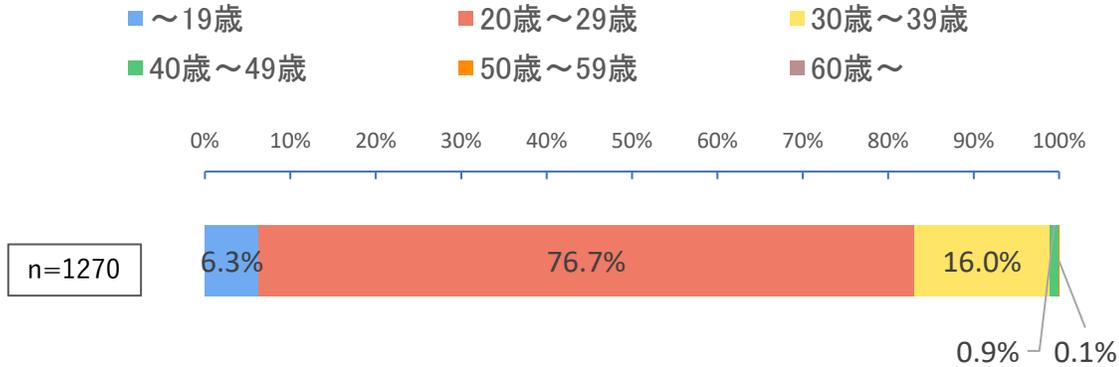
- ① 単純集計
- ② クロス集計

※本調査は回答者の回答ベースで集計を行っております。
本調査のモニターにおける数値であり、国内における全ての外国人労働者を対象としたものではありません。

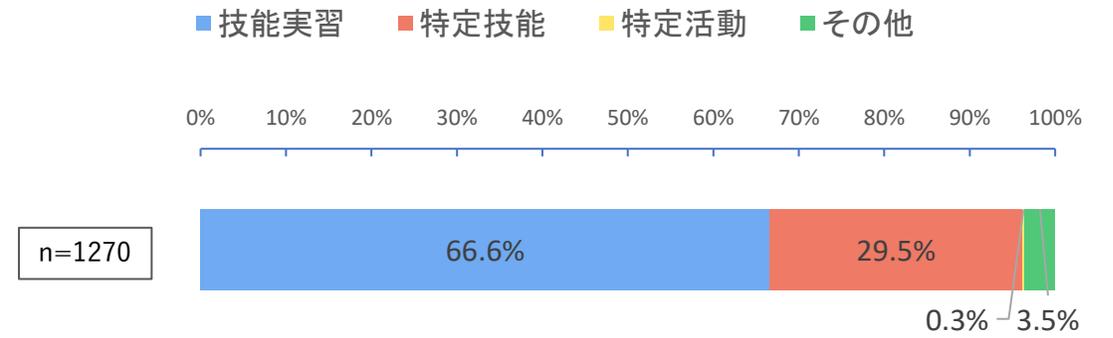
※各表・グラフの数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、
個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

回答者プロフィール (全体)

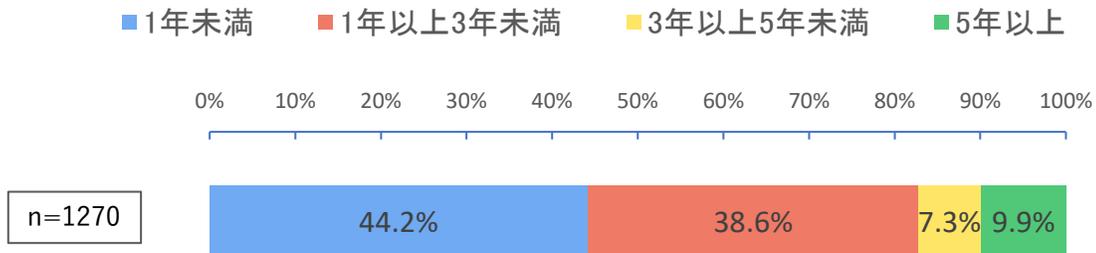
Q1.年代



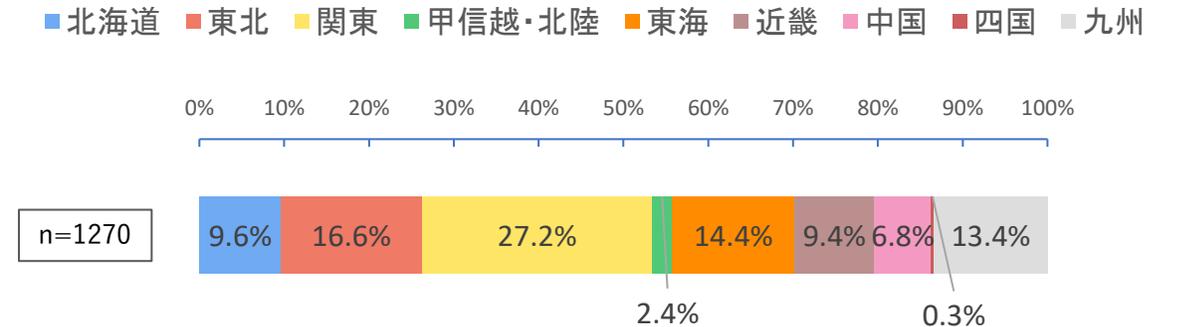
Q2.在留資格



Q3.日本在住期間



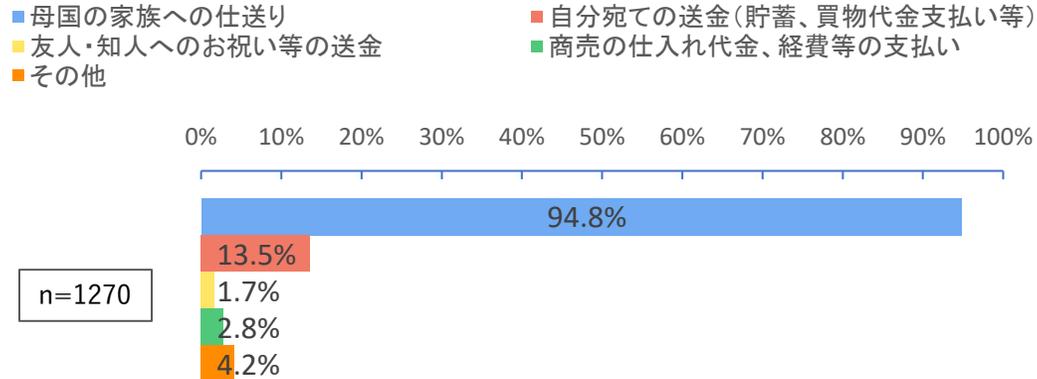
Q4.居住地



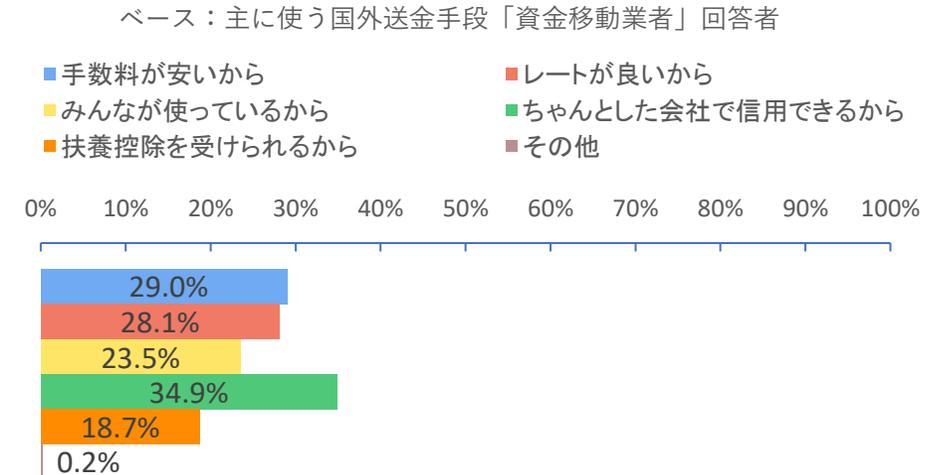
送金サービスの利用実態（全体）

※（*）は複数回答の設問です。

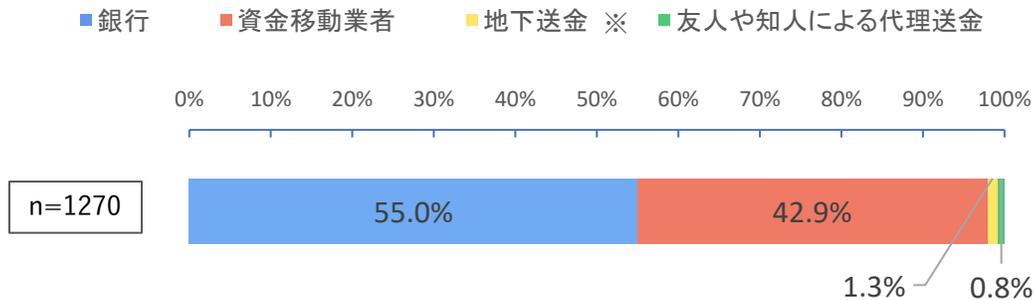
Q5.国外送金の目的（*）



Q7.資金移動業者を使う理由（*）



Q6.主に使う国外送金手段



※国からの送金ライセンスを取得していない個人または業者を通じての送金

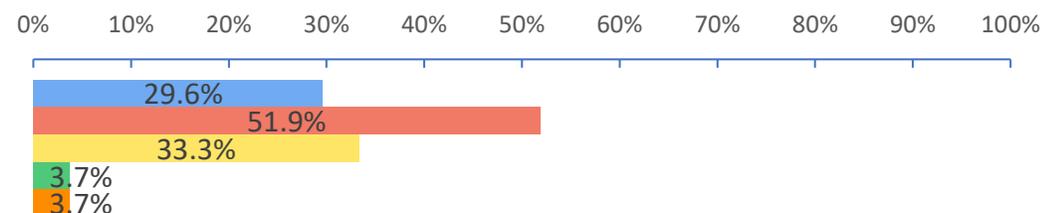
地下送金や代理送金について（全体）

※（*）は複数回答の設問です。

Q9.地下送金や代理送金を利用する理由（*）

ベース：主に使う国外送金手段「地下送金」「代理送金」回答者

- 手数料が安い・節約できるから
- レートが良いから
- みんなが使っているから
- 在留カードを提出しなくていいから
- 着金後に支払えばいいから
- その他

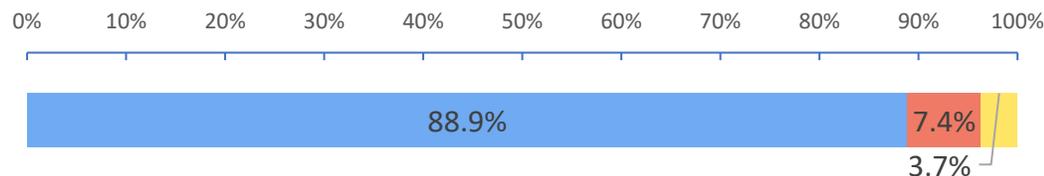


n=27

Q10.地下送金や代理送金を知ったきっかけ

ベース：主に使う国外送金手段「地下送金」「代理送金」回答者

- 日本に来てから友人や同僚に教えてもらった
- 母国にいたときに友人や同僚に教えてもらった
- Facebook等の広告を見た
- 日本のレストランや〇〇(国名)ショップで見かけた
- その他



n=27

Q15.地下送金や代理送金の違法・違反の認識

- 地下送金や代理送金を知っている。どちらも違法・違反だと知っている。
- 地下送金や代理送金を知っている。地下送金は違法だと知っていたが、友人の代理送金が違法・違反だとは知らなかった(今知った)。
- 地下送金や代理送金を知っている。どちらも違法・違反だとは知らなかった(今知った)。
- 地下送金を知らなかった(今知った)。



n=1270

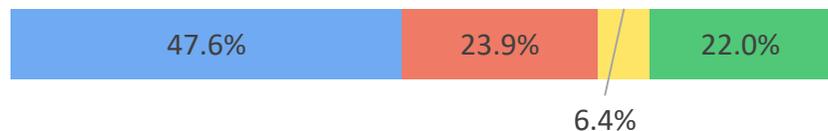
本人確認について（全体）

Q13.マイナンバーカード保有状況

- 持っている。
- 持っていない。これから作る予定。
- 持っていない。これからも作らない。
- 分からない。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

n=1270



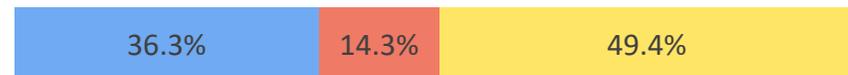
Q14.所有スマートフォンについて

ICカードをかざしてICチップの中身を読み取ることができるかどうか

- 読み取ることができる。
- 読み取ることができない。
- 分からない。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

n=1270



Q8.銀行・資金移動業者での本人確認

ベース：主に使う国外送金手段「銀行」「資金移動業者」回答者

- 店舗で在留カード等を見せた
- 在留カード等のコピーを郵送して、そのあと郵便が送られてきた
- アプリに在留カード等の写真をアップロードして、そのあと郵便が送られてきた
- アプリに在留カード等と自分の顔の写真をアップロードした
- アプリに自分の顔の写真をアップロードして、在留カード等のICチップをスマホで読み取った
- その他

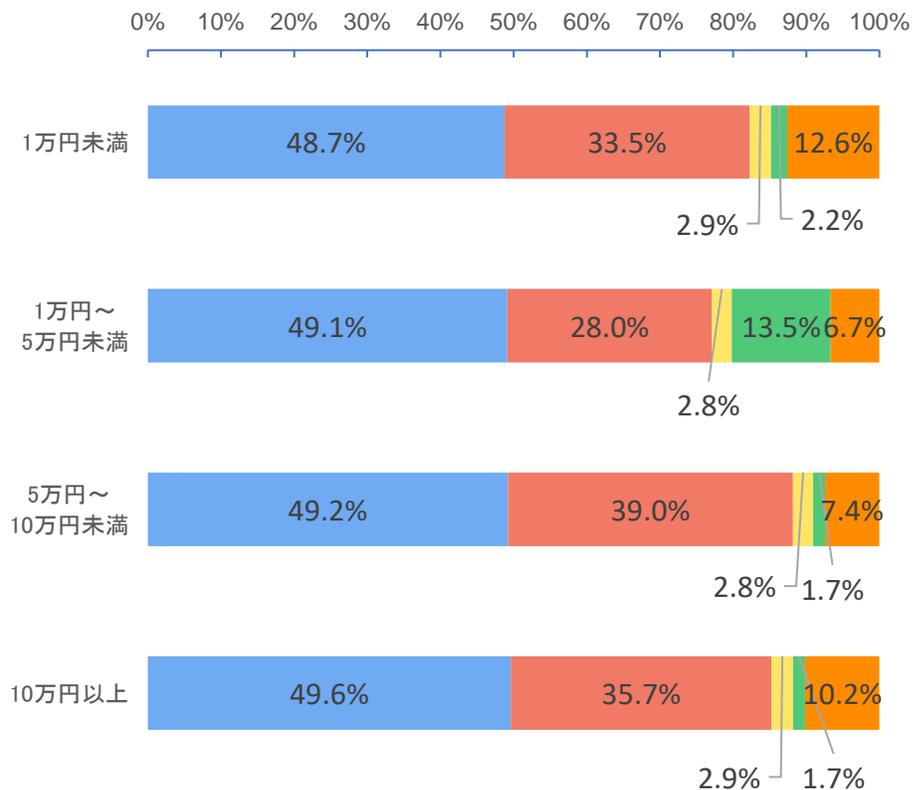
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

n=1243



送金方法ごとの年間送金回数と送金額（全体）

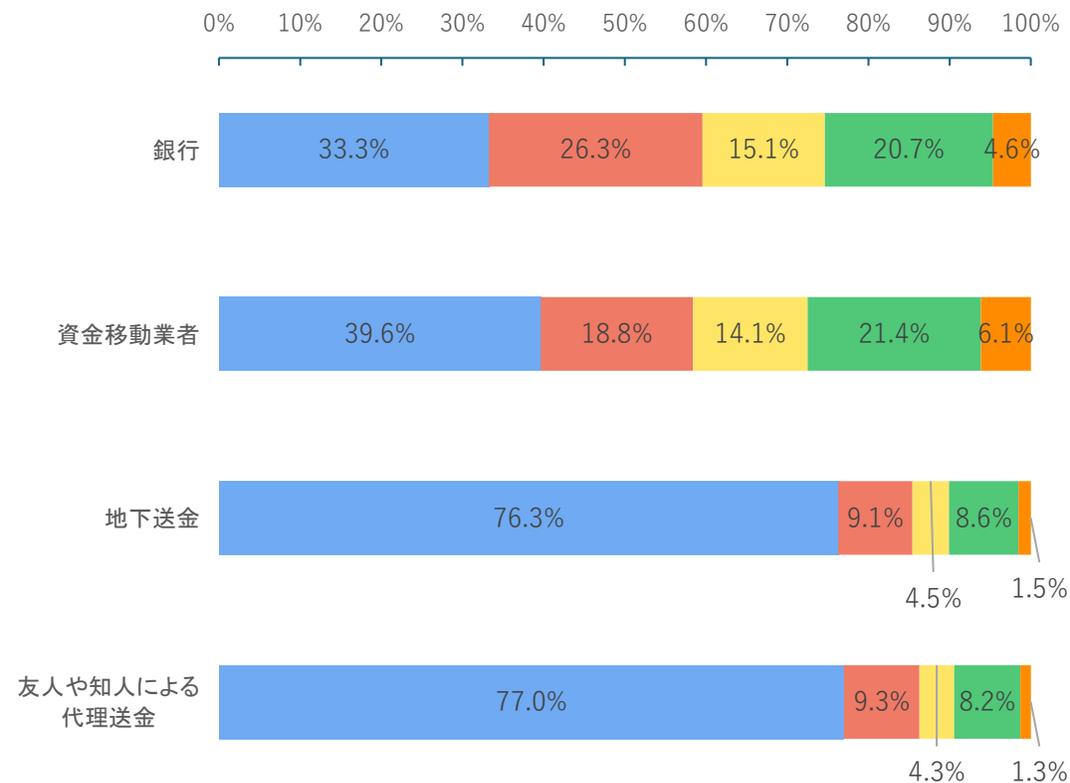
Q11.送金額ごとのよく使う送金方法



n=1270

■ 銀行 ■ 資金移動業者 ■ 地下送金 ■ 友人や知人による代理送金 ■ この金額は送金しない

Q12.送金方法ごとの年間送金回数



n=1269

■ 0回 ■ 1回～4回 ■ 5回～8回 ■ 9回～12回 ■ 13回以上

調査結果

- ① 単純集計
- ② クロス集計

※本調査は回答者の回答ベースで集計を行っております。
本調査のモニターにおける数値であり、国内における全ての外国人労働者を対象としたものではありません。

※各表・グラフの数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、
個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

※一部、回答数が少ない項目が存在しますが、参考値として掲載しております。

Q2×Q13

在留資格別 マイナンバーカード保有について（全体）

- 技能実習・特定技能においては70%以上がマイナンバーカードを保有、または保有予定となっており、全体的に普及していることがわかる。一方で、マイナンバーカードの保有状況を把握できていないという回答も20%を超えている。

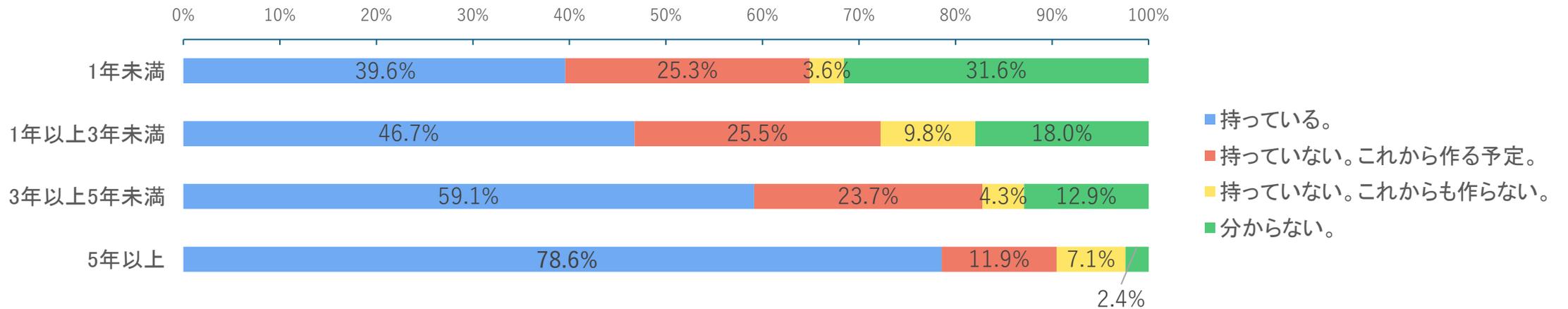


n=1270

在留資格	n=	持っている。	持っていない。 これから作る予定。	持っていない。 これからも作らない。	分からない。
技能実習	(846)	44.1%	26.4%	8.0%	21.5%
特定技能	(375)	53.6%	18.9%	2.4%	25.1%
特定活動	(4)	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
その他	(45)	66.7%	20.0%	6.7%	6.7%

在住年数別 マイナンバーカード保有について（全体）

- マイナンバーカードの保有率は、在留年数に比例して高くなっており、在留年数5年以上では80%弱がマイナンバーカードを持っている。

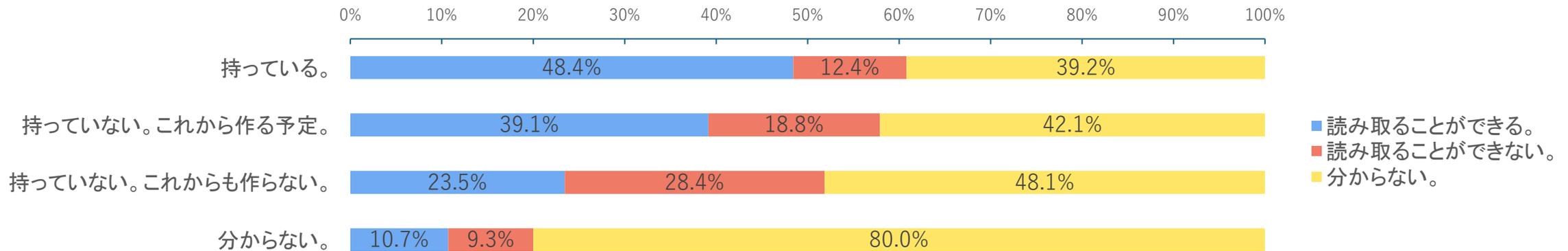


在住年数	n=	持っている。	持っていない。これから作る予定。	持っていない。これからも作らない。	分からない。
1年未満	(561)	39.6%	25.3%	3.6%	31.6%
1年以上3年未満	(490)	46.7%	25.5%	9.8%	18.0%
3年以上5年未満	(93)	59.1%	23.7%	4.3%	12.9%
5年以上	(126)	78.6%	11.9%	7.1%	2.4%

Q13×Q14

マイナンバーカードの保有の有無と 所有スマートフォンのICチップ読取機能の有無（全体）

- マイナンバーカードを保有している、あるいは作成する予定がある方が、ICチップ読取機能付きスマートフォンの保有割合が高くなっている。
- マイナンバーカードを所有しているかどうか分からない場合は、所有スマートフォンのICチップ読取機能の有無についても認識していない割合が他に比べて高い。



マイナンバーカード	n=	読み取ることができる。	読み取ることができない。	分からない。
持っている。	(605)	48.4%	12.4%	39.2%
持っていない。 これから作る予定。	(304)	39.1%	18.8%	42.1%
持っていない。 これからも作らない。	(81)	23.5%	28.4%	48.1%
分からない。	(280)	10.7%	9.3%	80.0%

Q15×Q12

違法性の認識「地下送金や代理送金を知っているが、どちらも違法・違反だとは知らなかった」
送金方法ごとの年間送金回数（全体）

□ 地下送金や代理送金について違法性の認識がない層では、50%以上の人々が年1回以上地下送金や代理送金を利用している。



n=47

送金方法	0回	1回～4回	5回～8回	9回～12回	13回以上
銀行	31.9%	36.2%	10.6%	14.9%	6.4%
資金移動業者	29.8%	23.4%	21.3%	19.1%	6.4%
地下送金	46.8%	21.3%	10.6%	14.9%	6.4%
代理送金	48.9%	21.3%	10.6%	12.8%	6.4%

総括

国外送金の実態

- 国外送金の目的として、回答者の約95%が「母国の家族への仕送り」を挙げている。
- 銀行、資金移動業者を利用する際の取引時確認方法については、対面取引での取引時確認方法である「店舗で在留カード等を見せた」との回答が27%超で最も多い。一方、非対面取引においては「アプリに在留カード等と自分の顔の写真をアップロードした」との回答が23%超で、犯罪による収益の移転防止に関する法律施行規則第6条第1項第1号ホに定められた方法が最もよく使われている。

マイナンバーカードの保有状況

- 在住年数が長いほどマイナンバーカードの保有率が高くなる傾向にある。

付録：調査票

Q1	あなたの年齢を教えてください。
1	～19歳
2	20歳～29歳
3	30歳～39歳
4	40歳～49歳
5	50歳～59歳
6	60歳～

Q2	あなたの在留資格を教えてください。
1	技能実習
2	特定技能
3	特定活動
4	その他

Q3	あなたは日本にどのくらい住んでいますか。
1	1年未満
2	1年以上3年未満
3	3年以上5年未満
4	5年以上

Q4	あなたは日本のどこに住んでいますか。
1	北海道
2	東北(青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島)
3	関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川)
4	甲信越・北陸(山梨、長野、新潟、富山、石川、福井)
5	東海(静岡、愛知、岐阜、三重)
6	近畿(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)
7	中国(鳥取、島根、岡山、広島、山口)
8	四国(香川、愛媛、徳島、高知)
9	九州(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)

Q5	国外送金を行う目的は何ですか。(複数回答)
1	母国の家族への仕送り
2	自分宛ての送金(貯蓄、買物代金支払い等)
3	友人・知人へのお祝い等の送金
4	商売の仕入れ代金、経費等の支払い
5	その他

Q6	国外送金を行うとき、主に何を使いますか。
1	銀行
2	資金移動業者
3	地下送金(国からの送金ライセンスを取得していない個人または業者を通じての送金)
4	友人や知人による代理送金

Q7	【Q6で「資金移動業者」と回答した方へ】 資金移動業者を利用する理由は何ですか。(複数回答)
1	手数料が安いから
2	レートが良いから
3	みんなが使っているから
4	ちゃんとした会社で信用できるから
5	扶養控除を受けられるから
6	その他()

Q8	【Q6で銀行または資金移動業者と回答した方へ】 本人確認を求められたとき、どういう方法で確認しましたか。
1	店舗で在留カード等を見せた
2	在留カード等のコピーを郵送して、そのあと郵便が送られてきた
3	アプリに在留カード等の写真をアップロードして、そのあと郵便が送られてきた
4	アプリに在留カード等と自分の顔の写真をアップロードした
5	アプリに自分の顔の写真をアップロードして、在留カード等のICチップをスマホで読み取った
6	その他

Q9	【Q6で「地下送金や代理送金」と回答した方へ】 地下送金、友人や知人による代理送金を利用する理由は何ですか。(複数回答)
1	手数料が安い・節約できるから
2	レートが良いから
3	みんなが使っているから
4	在留カードを提出しなくていいから
5	着金後に支払えばいいから
6	その他()

Q10	【Q6で「地下送金や代理送金」と回答した方へ】 地下送金、友人や知人による代理送金という方法を知ったきっかけは何ですか。
1	母国にいたときに友人や同僚に教えてもらった
2	日本に来てから友人や同僚に教えてもらった
3	日本のレストランや〇〇(国名)ショップで見かけた
4	Facebook等の広告を見た
5	その他()

Q11	次のAからDの金額を送金するとき、それぞれの送金方法を使うことが多いですか。	銀行	資金移動業者	地下送金	友人や知人による代理送金	この金額は送金しない
1	A: 1円～9,999円					
2	B: 10,000円～49,999円					
3	C: 50,000円～99,999円					
4	D: 100,000円～					

Q12	それぞれの送金方法を1年間に何回くらい利用しますか。	0回	1回～4回	5回～8回	9回～12回	13回以上
1	銀行					
2	資金移動業者					
3	地下送金					
4	友人や知人による代理送金					

Q13	マイナンバーカードを持っていますか。
1	持っている。
2	持っていない。これから作る予定。
3	持っていない。これからも作らない。
4	分からない。

Q14	あなたが使っているスマートフォンは、ICカードをかざしてICチップの中身を読み取ることができますか
1	読み取ることができる。
2	読み取ることができない。
3	分からない。

Q15	地下送金を扱っている業者は違法です。また、友人・知人から依頼を受けて代理送金を行うことも、違法または資金移動業者等の規約違反です。このことを知っていましたか。
1	地下送金や代理送金を知っている。 どちらも違法・違反だと知っている。
2	地下送金や代理送金を知っている。 地下送金は違法だと知っていたが、友人の代理送金が違法・違反だとは知らなかった(今知った)。
3	地下送金や代理送金を知っている。 どちらも違法・違反だとは知らなかった(今知った)。
4	地下送金を知らなかった(今知った)。

地下送金や代理送金防止のため、アンケートの最後に啓発文章を各国語に翻訳したものを画像にして挿入しています。

【啓発文章画像イメージ】

地下送金を扱っている業者は違法です。友人や知人から依頼を受けて代理送金を行うことも違法または資金移動業者等の規約違反です。また、地下送金や代理送金は、送金業者の破綻や利用者資金の持ち逃げがあっても保護されないので危険です。さらに、地下送金や代理送金で送金してしまうと、年末調整で控除が受けられず、税金が高くなります。国が認めた銀行や資金移動業者を使って送金するようにしましょう。